

資料2

基本政策懇談会の進め方とテーマの設定について（案）

1 基本政策懇談会の基本的な進め方

- (1) 開催前に基本政策懇談会委員等の意見を踏まえテーマを設定する。
- (2) 基本政策懇談会各回においては、設定したテーマにつき国土交通省が研究開発すべき課題、実施すべき施策等について基本政策懇談会委員、事務局等が説明を行った上、議論する。
- (3) 今後の国土交通技術行政の政策の方向性として、設定したテーマ毎の議論の結果をとりまとめる。

2 設定するテーマの観点

- (1) 新しい課題、または、重要であり国土交通省技術基本計画での位置づけを強化したい課題
- (2) 社会的に大きな課題
- (3) AI、IoT 技術など技術革新のスピードが速い課題 等

3 テーマの候補と論点

今後の社会経済の課題・ニーズ等を踏まえて、テーマを設定する。

- (1) モビリティ（人流、物流、ドローン含む。）

論点例：○大都市、地方都市、中山間地域におけるモビリティのあり方
○シェアモビリティ（カーシェア等）の可能性
○モビリティ情報の統合管理・活用
○ドローンを用いた物流の可能性

- (2) 地球温暖化、防災、国土強靱化、安全

論点例：○地球温暖化について、緩和策、適応策のあり方
○南海トラフ巨大地震、想定外の集中豪雨等への対応のあり方
○生活道路の安全対策

- (3) 環境、グリーンイノベーション（グリーンインフラ含む）、スマートシティ

論点例：○グリーンイノベーションについて、効率的・効果的な手法
○スマートシティのあり方
○社会全体のエネルギー管理・効率の最適化のあり方

- (4) オープンデータ化とオープンイノベーション

論点例：○オープンイノベーション手法による技術革新のあり方

- オープンデータ・プラットフォーム等整備すべき基盤
- エッジコンピューティング等新たな技術の活用、普及の手法

(5) メンテナンス、新素材、新工法

- 論点例：○効率的でライフサイクルコストの大幅なコスト減を図る手法
- 人材、体制づくりを含めた、開発から社会実装までの一貫通貫の取組み
 - 交通渋滞を発生させない非破壊検査の可能性

(6) コンパクトシティ、地方創生

- 論点例：○コンパクトシティの推進のあり方
- 地方公共団体や大学、民間企業等との連携による地方創生のあり方
 - 全国的な科学技術イノベーションの展開による地方創生のあり方

(7) 宇宙利用、海外展開

- 論点例：○準天頂衛星、SAR衛星、光学衛星等の活用方法
- 科学技術イノベーションの国際連携のあり方

4 議論の結果

とりまとめられた議論の結果は、技術部会へ報告され、国土交通省としての今後の技術政策の検討及び次期技術基本計画の策定の際の参考として活用される。

5 当面のスケジュール

- | | |
|-----------|-------------------|
| 7月～9月(毎月) | 基本政策懇談会で各テーマにつき議論 |
| 9月 | 第23回技術部会へ報告 |

6 第1回基本政策懇談会での議論の進め方

- (1) 基本政策懇談会の進め方について議論する。
- (2) テーマの候補について以下を議論する。
 - ・追加すべきテーマ
 - ・各テーマについて必要な視点
 - ・事務局に対する事例収集等の指示 等
- (3) モビリティ及びオープンデータ化について、テーマとして設定し、基本政策懇談会委員及び事務局が説明を行った上、議論する。
※モビリティ及びオープンデータ化については、第2回以降に必要なに応じてテーマとして再度設定する。

以上